

知 事 意 見 (要 綱)

平成 1 6 年 1 1 月 1 6 日

J R 宇野線・本四備讃線輸送改善事業に係る複線化（備中箕島～茶屋町）事業に関する環境影響評価実施計画書について、関係市町長、関係地域住民及び岡山県環境影響評価技術審査委員会の意見を勘案し、慎重に検討した結果、意見は次のとおりであるので、環境影響評価準備書（以下、「準備書」という。）に反映させるとともに、調査、予測及び評価の結果に基づき、当該事業に係る環境影響をできる限り回避し、又は低減するなど環境保全上必要な措置について特段の配慮を願いたい。

記

1 . 事業計画について

(1) 当事業の目的や、その効果を具体的に記載すること。

また、列車本数の増加や列車速度の向上等がない計画となっているが、その有無は環境影響評価の実施に当たり大きな前提条件となることから、長期的な観点から再検討し、その結果を準備書で明らかにすること。

(2) 工事中の資材等の搬入ルートをはじめとする具体的な工事計画が明らかとなっていない部分があるので、今後の計画の具体化や調査の進展等に応じて、準備書において詳細に記述し、その内容を踏まえて的確な環境影響評価を実施すること。

2 . 環境影響について

事業の実施による環境影響を回避・低減するため、現地調査結果や予測評価結果を十分に勘案し、必要に応じ適切な環境保全対策を立案すること。

また、施工機械の防音・防振措置や車両運行ルートの分散化・平準化等の環境保全措置をあらかじめ立案し、建設機械の稼働、工事関係車両による影響をできる限り低減するよう配慮した工事計画とすること。

3 . 調査、予測及び評価の手法等について

事業特性及び地域特性を勘案すると、自然環境項目に関して、事前調査のみとすることはやむを得ないと考えられるが、ダルマガエルのみならずハグロトンボやコオイムシなど、生息の可能性がある種の生態を把握した上で、調査時期や調査方法等を十分検討し、効果的な調査を実施すること。

4 . その他

(1) 予測結果の検証のため、適切な環境管理計画を策定し準備書に記載すること。

なお、モニタリング結果を広く地域住民等へ情報提供する方法も検討しておくこと。

- (2) 環境影響評価手続きは、地域住民等と円滑なコミュニケーションが図られることも期待されているため、広く事業計画に関する情報を提供するよう、準備書への記載はもちろんのこと、事業推進に当たっても十分に配慮すること。

5 . 指摘事項について

別掲の指摘事項についてそれぞれ検討し、適切に対処されたい。

指 摘 事 項

1．環境の自然的構成要素の良好な状態の保持

(1) 騒音・振動

当事業の実施に当たっては、特に騒音及び振動影響の的確な把握が重要であることから、現地調査を進めていく中で、新たな調査・予測地点の設定が必要と考えられる場合には適宜追加するなど、適切な環境影響評価を行うこと。

(2) 水質

工事中の降雨時に発生する濁水については、公共用水域に影響を及ぼさないよう、あらかじめ十分な容量の沈砂池を設置するなど濁水流出防止策を十分に講じる計画とすること。

2．地域の景観の保全及び人と自然との豊かな触れ合いの確保

(1) 動物・植物

当事業により新たな用水路や排水路等が整備される場合は、動物の生息環境に影響を及ぼす可能性があるため、準備書では、排水路等の整備の有無を明らかにし、整備計画がある場合は動物の生息環境の連続性に配慮した工法を採用すること。

既存資料調査について、特に動植物に関しては、文献等の情報を適切に整理するとともに、調査すべき文献に漏れがないように十分に確認し、準備書に反映すること。

3．その他

文化財については環境影響評価項目に含めていないが、当該路線には宇野線開業時からの煉瓦積橋台が良好な状態で残されており、当地域の歴史的景観保全の観点から重要なものと考えられるので、その保存に配慮した工事計画とすること。

JR宇野線・本四備讃線輸送改善事業に係る複線化（備中箕島～茶屋町）事業の概要及び環境影響評価実施計画書の関係地域住民への周知結果

1. 事業の概要

(1) 事業の名称

JR宇野線・本四備讃線輸送改善事業に係る複線化（備中箕島～茶屋町）事業

(2) 事業者の名称

瀬戸大橋高速鉄道保有株式会社（代表取締役社長 西川直輝）

(3) 事業の目的及び内容

JR宇野線・本四備讃線は本州と四国を結ぶ連絡線であるとともに、四国・中国及び京阪神主要地域間の連携強化・活性化に資する広域高速輸送体系を形成しているが、岡山駅から茶屋町駅までは単線区間が長く、今後の到着時間の短縮やダイヤ混乱時の早期回復において制約になっているため、複線化事業を実施しこれを解消するもの。

(4) 事業の種類

鉄道の改良の事業

(5) 事業実施区域の位置

JR宇野線・本四備讃線（岡山～児島間）のうち、JR宇野線の備中箕島から茶屋町に至る区間

(6) 計画諸元

項目	計 画 概 要
事業実施延長	約3.3km（JR備中箕島駅～JR茶屋町）
改变面積	約1.7ha（平均改变幅：約5m）
工事期間	約2.5年
その他	・ JR久々原駅で乗降用ホーム1面の新設 ・ 列車本数の増加、列車速度の向上予定はない。

2. 関係地域住民への周知結果

(1) 公告の方法

日刊新聞紙への掲載（平成16年9月14日朝刊）
山陽新聞

周知計画地域内へのチラシ配布

(2) 縦覧の概要

縦覧期間

平成16年9月15日（水）～9月28日（火）

縦覧場所

岡山市役所妹尾支所、早島町役場企画振興課、倉敷市役所茶屋町支所
JR宇野線3駅（妹尾駅、早島駅、茶屋町駅）

縦覧者数

18名

(3) 意見書の提出期間

平成16年9月15日（水）～10月5日（火）

(4) 住民からの意見書提出数

1件